

## 双葉駅東地区商業施設 MEMEGURU FUTABA（めめぐるふたば） が完成しました。



南西面外観



沿道コアひろば



A棟 客席



B棟 客席



C棟 カウンター

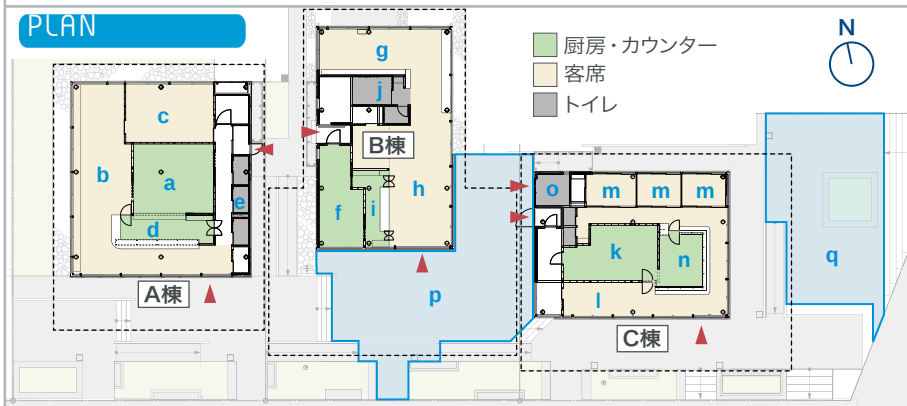
### DATA

| A棟                  | B棟                  | C棟                  |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 敷地面積: 442.56㎡       | 敷地面積: 445.20㎡       | 敷地面積: 485.67㎡       |
| 建築面積: 186.13㎡       | 建築面積: 241.36㎡       | 建築面積: 192.01㎡       |
| 延床面積: 149.29㎡       | 延床面積: 125.94㎡       | 延床面積: 118.16㎡       |
| 建ぺい率: 42.05%(許容60%) | 建ぺい率: 54.21%(許容60%) | 建ぺい率: 39.53%(許容60%) |
| 容積率: 33.73%(許容200%) | 容積率: 28.28%(許容200%) | 容積率: 24.32%(許容200%) |
| 最高高さ: 6.462m        | 最高高さ: 6.467m        | 最高高さ: 6.293m        |
| 最高軒高: 3.100m        | 最高軒高: 3.600m        | 最高軒高: 3.800m        |
| スパン: 5.6m×5.6m      | スパン: 5.1m×5.1m      | スパン: 5.9m×5.9m      |

設計期間: 2023.07~2025.03

工事期間: 2025.03~2026.01 構造・規模: 鉄骨造 一部木造 地上1階

### PLAN



SITE/1F PLAN S=1:500

|             |           |             |             |            |
|-------------|-----------|-------------|-------------|------------|
| a. A棟 厨房    | e. A棟 トイレ | i. B棟 カウンター | m. C棟 小上がり  | q. 橋詰コアひろば |
| b. A棟 客席1   | f. B棟 厨房  | j. B棟 トイレ   | n. C棟 カウンター | ▶ 出入口      |
| c. A棟 客席2   | g. B棟 客席1 | k. C棟 調理場   | o. C棟 トイレ   |            |
| d. A棟 カウンター | h. B棟 客席2 | l. C棟 客席    | p. 沿道コアひろば  |            |

### CONCEPT

軒下空間と集落的構成が生む  
まちとつながる賑わいの拠点

本計画は、双葉駅前通りに面した敷地に、復興まちづくりの先導拠点として公設民営の商業施設（飲食店）を計画したものです。

駅前通りに面して設けた「軒や庇の掛かった共用空間（コアひろば）」を起点に、軒下空間や通りの連続により空間が数珠状に展開する集落的な構成としています。住宅スケールの街並みにあわせて建築を3棟に分節することで、棟間に通り抜け動線を確保し、奥へと広場を連続させています。また、広い軒下空間を介して店舗内外を一体的に活用し、多様なアクティビティを受け止める場を形成しています。商業施設その1（スーパー）と呼応するコンセプトのもと、駅前からの人の流れを大きな屋根が横断的に包み込むことで、軒下空間を基軸としたまちなみと連続する賑わいを演出しました。

### TOPICS



まちと連続する開放的な店舗のづくり

本施設では、各店舗が四方に開く構成とし、開口部を設けることで店内の賑わいが外へにじみ出る計画としています。コアひろばに面する部分は一体的な活用が可能な計画とし、街と連続した利用を促します。さらに、梁下は各店舗の個性を発揮する領域、梁上部はまちなみの一部として扱うことで、多様なテナントに対応しながら統一感をもたせています。これにより軒裏空間はまちの骨格として、夜にはやわらかなあかりが街並みに溶け込みます。こうした空間は「まちのフードコート」として、敷地外の飲食店舗からの活用も視野に入れ、広がりのある利用を促す空間としました。

▶ <http://www.nissoken.co.jp>